



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.476

Contents

新春にあたって ～2019年 年頭メッセージ～

2018年 各部の3大ニュース 2

A-Policy 重点事業方針

- ・段ボール低コスト化の取組み 7
- ・LPガス監視センターの業務内容 9

A-Reports／

- | | |
|--|-----------------------|
| ・信州プレミアム牛肉 オール信州共進会 in 京都が初開催 6 | ・JA全農長野の事業現況 12 |
| ・東信地区JAがトラクタ試乗実演会 11 | ・1月の動き 12 |
| ・「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール結果発表 11 | ・1月のラジオ番組表 12 |
| | ・編集後記 12 |

A-Board／

- ・「第50回信州フラワーショー ウィンターセレクション」のご案内 12



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

新春にあたって

（2019年頭メッセージ）

新年おめでとうございます。輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、西日本をはじめ、全国各地で豪雨災害や台風被害が頻発した年でした。また9月には震度7の北海道胆振東部地震が発生し、土砂崩落や停電等により酪農業にも大きな影響ができました。長野県におきましても、6月の降雹や9月の大型台風21号、24号等により野菜や果樹を中心に県内広範囲で多くの被害が発生いたしました。被災された皆様にはあらためて心よりお見舞い申し上げます。

さて、長野県本部の運営につきましてでは、県本部総合経営管理体制の堅持という県本部経営管理の基本をふまえ、「会員JAと一体的な事業運営により、生

産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通じて、JA組合員の営農と生活の向上に貢献する」という基本理念に沿い、運営委員会委員長として、引き続き健全な事業運営と長野県農業の発展に努力していく所存であります。

ご承知のとおり、政府は「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、農業・農協の構造改革を推し進めているほか、JA組織に対しては、2019年5月の「農協改革集中推進期間」終了後に改革成果を強く求めてくることが想定されます。

また、農畜産物貿易交渉においては、日欧EPA交渉が最終合意されたほか、米国を除く新協定TPP11が発効され、さらには米国との二国間による日米物品貿易協定（TAG）交渉開始の決定など、政府主導による自

由貿易交渉が加速し農業者の大きな不安となっています。我々としては、安易な譲歩等は到底容認できず、農業者が将来に希望が持てる政策・対策を、政府・与党には引き続き強く訴えてまいります。

さて、本年は「JA長野県次期中期構想3ヶ年計画」に連動した県本部「次期中期3ヶ年計画（2019年～2021年）」の初年度となります。

本計画は、農業生産基盤の維持強化、信州産農畜産物の販売体制強化、系統経済事業の競争力強化、地域の生活基盤の維持・発展を基本方針としています。

JA・県本部との事業機能の連携をいっそう強めるとともに、本計画の確実な実践を通じて、JA組合員へのメリット還元に取り組んでまいり所存であります。

1月は旧暦の「睦月」と称し

ます。「実月」（稲の実をはじめて水に浸す月）が転じたとの説もあります。旧暦が示す通り、農業は日本人の生活や文化・風習に深く根ざしており、私たちJA組織は、日本を形成してきた農業を守り未来に引き継いでいく使命があると考えております。

2019年が組合員はじめ地域の皆様にとって更に飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

全国農業協同組合連合会長野県本部
運営委員会会長 雨宮 勇



2018年 各部の 3大ニュース

【JA長野県営農センター】

1 30年産米政策見直しに伴う対応

米の需給と価格の安定に向けて、JA・行政等と一体となった水田フル活用ビジョンの策定と実践、需要に見合った主食用米の適正生産の推進、政策フル活用や水田農業経営の複合化などによる農業所得確保の取り組みを進めてきました。

2 技術審議役を迎え生産振興業務拡充

長野県農業試験場・野菜花き試験場長などを歴任された上杉壽和氏を技術審議役を迎え、野菜類の生産振興業務に県下各地を巡回・指導に出向いていただき、営農センターの生産振興業務を充実・強化しました。

3 各種野菜収穫機の試験実施

高齢化・労働力不足などの対策として、野菜機械化体系の試験を実施してきました。キャベツ・ダイコン・スィートコーン・ネギ・ホウレン草等、品目ごとの実演を行い、課題点や改良点を確認しました。収穫機導入には、栽培条件の見直し、導入メリットの整理、経営分岐点の試算が必要となります。

今後も機械化一貫体系の確立に向け、JAと共に検討を進めていきます。



ダイコン収穫機の実演試験

【生産販売部】

1 青果物花き取引会議の開催

5月31日、長野市のホテル国際21において、「平成30年度青果物・花き取引会議」を、長野県阿部守一知事の出席をいただき、総勢86名の出席のもと盛大に開催しました。主催者としてJA全農長野運営委員会の雨宮勇会長から、日頃の取引のお礼と、「安全安心



青果物花き取引会議で挨拶をする雨宮会長

な信州ブランドを確立し、生産販売部青果物花き取扱目標1,598億円達成に向け、卸売会社・実需者・JAグループが一丸となって対策を進める」との挨拶がありました。協議内容では、「青果物流通の変化に伴う産地の対応について」「長野県青果物の将来に向けて期待すること」「今後の花き流通動向の展望と長野県花き振興への期待」について、それぞれ代表会社から提言をいただきました。



農機&資材フェスタでの共同購入トラクタ展示

組みの一環として、全国1万人の生産者の声を反映した低価格モデルトラクタ（60馬力クラス）の開発をメーカー4社に要請し、3年間で1,000台の取扱いを目標とする「共同購入」に取り組みました。その結果、必要な機能を厳選した「YT357Z（ヤンマー）」を決定し、7月より受注活動を開始しました。この取組みにより、生産者の購入価格は同クラスの標準的なモデルと比較して、概ね2〜3割の引き下げが実現しました。

本県では、農機&資材フェスタ2018（7月20・21日開催）での展

③ 段ボール規格集約の推進
全農長野では、青果物輸送の中枢を占める段ボールの規格統一を進めていますが、2018年はこの取組みを強化し、コストダウンを図りました。
具体的には、サニレタス・グリーンリーフレタス段ボールの対象地区での水抜き穴の型を含めた規格統一や、きのこ段ボール主要規格への類似規格の集約、小ロット原紙の主要原紙への集約です。
そして今後も、販売部署と連携して新たに輸送用パレットサイズに適合した寸法への規格集約を進め、更に取組みを強化していきます。



シナノリッポ トップセールス

② 夏リンゴ シナノリッポ

市場デビュー

8月20日、大田市場で待望のリンゴ新品种「シナノリッポ」のトップセールスを開催しました。イベントでは、阿部知事、雨宮会長、小林哲男県本部長などがセリ台に立ち、卸売市場関係者からは「糖酸のバランスが大変よく、果汁もたっぷり、さらに日持ちも良い。『ジュシーすぎる夏リンゴ』というキャッチコピーがぴったりだ」と高い評価をいただきました。

JAグループではこれまでの3年間、卸売市場関係者や一般消費者から意見を聞きながらデビューへの準備を進めてきました。今夏の本格デビューに際し、県内や首都圏でのマスコミによる告知や、宣伝効果も狙った真っ赤な出荷箱の作成、ロゴマークや店頭用販促グッズ、長野駅構内での大型フラッグによるPRなど、新品种の認知度アップに取り組みました。

本年度はJAグループ全体で約23トンの出荷があり、卸売市場を中心に販売しました。

今後も、「夏リンゴ シナノリッポ」としての地位を確立できるよう、生産・集荷・販売に全力で取り組んでいきます。

③ 重点実需者との懇談会の実施

生産販売部では、中期事業計画の行動計画のひとつとして、重点実需者との懇談会を重ね、総合品目供給に向け、販売先毎に目標を定め確認をすることと、総合宣伝会や信州フェア、トラックスセルなどの企画提案を行い、積極的に事業展開をしてきました。コープこうべ、(株)ライフコーポレーション、(株)オークワ、(株)サラダクラブなどの各取引先とのトップ懇談を通じて、より一層信州の魅力や実力をご理解いただき、将来を見据えた強固な関係性を構築することができました。

【生産購買部】

①「JAファームみなみちゃん」リニューアルオープン

2月16日、JAみなみ信州みどりの広場構内の「JAファームみなみちゃん」がリニューアルオープンしました。オープンセールは開店前から多くのお客様が並び、3日間で1,200人を超えるお客様が来店されました。

地域の皆様の多様なニーズに 대응することを目的に、売り場面積を約1.7倍に拡大し、農業資材専門店としてよ



「JAファームみなみちゃん」オープンセール

②「共同購入トラクタ」の取り組み

全農は、生産資材価格引き下げの取

【畜産酪農部】

① 東海酪連・乳質表彰

10位以内に長野県7人が入賞

東海酪連が年間を通じて乳質の優秀な農家10名を表彰する乳質表彰で、県内7名が入賞しました。最高位の優秀賞「東海農政局長賞」に片桐正之（由紀）さん（龍峽酪農）、優秀賞に美斉津昭信さん（JA佐久浅間）、渡辺建夫さん（JA佐久浅間）、高見沢潤さん（JA長野八ヶ岳）、岩岡俊義さん（南信酪農）、雲田茂さん（JA長野八ヶ岳）、渡辺俊夫さん（南信酪農）が選ばれ表彰されました。

わたりホルスタイン登録事業の発展に貢献し、顕著な功績を挙げた方が表彰されました。長野県では、JAながのの前田勉さん（日本ホルスタイン登録協会 会長）が農林水産大臣から、登録委員の山下秋広さん（南信酪農中信事業所長）が日本ホルスタイン登録協会長から感謝状が授与されました。

③ 信州プレミアム牛肉

オール信州共進会in京都 初開催

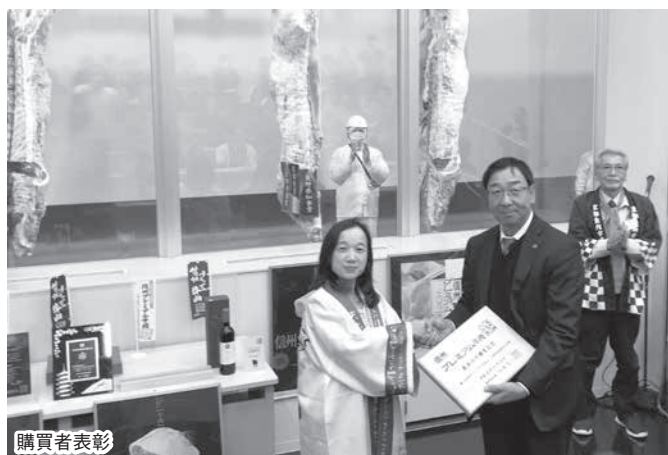
11月19日、京都市中央食肉市場で、長野県が主催する「信州プレミアム牛



優秀賞の喜びを語る片桐さん

②（一社）日本ホルスタイン登録協会 創立70周年記念式典

（一社）日本ホルスタイン登録協会 創立70周年記念式典において、長年に



購買者表彰

肉オール信州共進会in京都」が初めて開催されました（詳しくは本誌6ページをご覧ください）。

長野県産肉牛は、同市場の開設以来50年にわたり出荷を続けており、昨年度は、地元京都府に次いで2位の出荷量がありました。今後も京都の皆様から更に愛されるよう、品質向上に努めてまいります。

【生活部】

①農業生産用燃料支援対策として「軽油」を新たに追加実施

JAと一体となり担い手農家等を支援し、生産基盤の維持・拡大と利用向上を図る中、燃料・ホームエネルギー課では「自己改革強化策」に基づき、農業生産用燃料の支援対策を実施しています。

本年度から、これまでの農業生産用灯油・重油に新たに軽油を対象品目に追加し、5～11月の期間において、JAから担い手生産農家・生産部会等への配達軽油に対し、JAへの支援対策を実施しました。

JAにおいては、県本部の対策に加えてJA独自の対策を上乗せした配達

供給価格を設定し、JAの使命として求められている「安定・安価な農業生産用燃料の供給」に取り組みました。

②SSマイスター制度の導入

サービスステーションのスタッフを接客及びカーメンテナランスのプロフェッショナルに育成する「SSマイスター制度」を導入しました。

この制度は、「接客マイスター」、「カーメンテマイスター」（オイル、タイヤ、バッテリー、キーパーコーティング）、そして全てのマイスターを獲



キーパーコーティングマイスター実技試験

得した「スペシャルマイスター」で構成し、筆記・技術・販売課題の各試験を全て合格することによりマイスターとなります。現在、延べ34名が合格し活躍しています。

確かな商品知識と正確な作業技術、丁寧な接客サービスにより、一層組合員・お客様に愛されるJA・SSを目指します。

③「JA長野八ヶ岳」

葬祭事業共同運営スタート

2018年9月、JA長野八ヶ岳との葬祭事業の共同運営（運営実務／株長野エコープサプライ）がスタートしました。現在、同JAでは新ホールの建設を進めております（新ホールの営業開始は2019年1月中旬予定）。同JAの共同運営のスタートにより、JA・県域の共同運営JAは8JA・21ホールとなりました。

葬祭事業は、葬儀の小規模化や他社との競争激化などにより、大変厳しい状況にあり、さらに厳しさが増すことが予想されます。今後も葬儀の多様化に対応すべく取り組んでまいります。



JA虹のホールあおぞら新ホール完成予想

信州プレミアム牛肉 オール信州共進会 in 京都が初開催

11月19日（月）に京都食肉市場㈱で開催された第1回信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都で、津金武幸さん（JA長野八ヶ岳）が優秀賞、竹淵洋平（JA塩尻市）さんが優良賞を受賞しました。

長野県が主催、京都食肉市場㈱が共催する同共進会は、通常の肉質等級のほか、オレイン酸値を褒章基準に位置づけて審査します。県の安心安全農場に登録された県内各地の生産者が40頭の信州産和牛を出品し、品質を競いました。



畜産課



中島副知事のセリ前挨拶

初開催となった今回は、中島恵理副知事によるセリ前挨拶、トップセールス、表彰式での褒章授与がありました。また、同共進会を後援した京都市の門川大作市長が「新設となったこの京都中央食肉市場から消費者の皆さんに向けて、おいしい信州プレミアム牛肉を発信して欲しい」と、京都の目利き買参人に向けて信州和牛をアピールしました。共進会と同時に、信州プレミアム牛肉を取り扱っている京都府内9店舗で記念フェアが開催され、中島副知事らは、



京都食肉市場は、セリ場と枝肉冷蔵庫がガラスで仕切られ、衛生状態を保つ



優秀賞の表彰を受けるJA長野八ヶ岳の津金さん

※表紙右下の写真／記念フェアのポスターを飾るモリタ屋店頭



枝肉を見学する中島副知事(手前)

包装資材課

段ボール低コスト化の取組み

段ボールは青果物出荷時に幅広く使用されており、内容物の保護、取扱いの利便性向上、内容表示による情報提供など様々な機能を持っています。一方で、その使用率の高さから、常にコスト低減を考えねばならない資材でもあります。

コスト低減には寸法・材質の見直しが有効ですが、安易に寸法変更や材質のダウングレードを行うと、もともと持っていた流通上必要な機能が十分果たせなくなる可能性があります。そのため、段ボール開発にあたっては生産現場・流通・販売といった複数の視点からの評価を踏まえ、総合的に判断することが重要になります。

J A全農長野では、生産現場から販売までを通じた輸送試験を行い、機能とのバランスを取りながらコスト低減を進めています。ここでは、本年度の取組みについてご紹介します。

【きのこ段ボールのショートフラップ化】

段ボールの価格構成においては、使用される原紙代の影響が大きく、その使用面積（才数）により価格が左右されます。通常の段ボール（A式／みかん箱タイプ）では、天面のフラップはぴたり閉じるように設計されていますが、これを短くすることによって才数を削減し、コストを低減することが出来ます。すでに野菜段ボールでは広く普及していますが、きのこ向け段ボールとしては本年度初めて試みることとなりました。



通常のA式段ボール(例)



採用されたショートフラップ段ボール

J A中野市の要請により、えのきぶなしめじ段ボールの試験を行いました。なお、段ボール天面はノンステープタイプを採用し、作業性の向上と封緘用テープの使用量削減も図りました。試験においては、生産現場での作業性確認、保管・輸送時の状況、市場評価まで各段階で幅広い

い内容を検証しました。試験の結果を踏まえ、ぶなしめじ段ボールの規格については先行的に導入することが決定し、流通が始まっています。その他の規格についても、課題の解決に向けて継続的に試験を行う予定です。



生産現場にて、製函機適性や箱詰め時の作業性を確認

【六角段ボールの拡大】

六角段ボールは、J A木曾のハクサイで昨年度部分的に採用され、本年度より全面切替されました。六角形にすることにより、才数の削減に加えて強度の向上や角面を使ったPR効果も期待できます。本年度は、J A洗馬とパセリを対象に新規開発を行いました。試験の結果、来年度からの採用が決定しています。六角段ボールは、内容物によっては不向きな場合もありますが、コストダウンの有効な手段として今後も品目拡大を検討していきます。

【適正包装(過剰スペースの見直し)の取組み】

流通事情の変化により、段ボールに求められるスペックも変化しています。時として過去に設計した段ボールが現在の水準では過剰スペックになっている場合もあるため、適宜見直しを進めています。

【製造・流通コスト低減の取組み】

段ボールの製造・流通に関わるコストは、多品目小ロット化の進行や、ドライバー不足に伴う運賃見直しなどによって近年上昇しています。こうした構造的な問題に対して、使用する原紙や段ボール規格の集約を行うなど、製造時の合理化を通じてコスト上昇の抑制に努めています。

青果物は、内容物が不定形であることに加え、使用条件も過酷であるため、一般的な段ボールよりも一段と強い耐水性や耐圧強度が求められています。コスト削減の追及と同時に、こうした品質レベルの維持・向上も図ってまいります。



市場着荷時に箱・内容物の状況を調査



予冷後のトラック積載状況



採用された六角形段ボール(大小2規格)



燃料・ホーム
エネルギー課

LPガス監視センターの業務内容

全農長野のLPガス事業には、お客様の暮らしを支えるための、(1)「LPガスの安定供給・仕入強化」と、お客様(利用者宅)に安全に使用していただくための(2)「保安の高度化」の、主に2つの業務があります。

(1)「LPガスの安定供給・仕入強化」に向け、長野市松代町にLPガスステーション(充填所)が1997年に建設されました。LPガス50tタンク2基による日々の仕入れと在庫の調整、配送エリア内の適正運営を(株)アグリエール長野と連携して行っています。

(2)「保安の高度化」に向け、LPガス利用者宅の安心と安全の確保を目的とした集中監視システム「あんしんキャッチ24」により、宅内外のガス使用状況を監視する業務を、1995年に開始しました。

(図1参照)

1998年には、24時間体制の監視センターを充填所内に設置し、行政より「緊急時連絡(7号)」の保安機関として認定を受けました。

現在、16JA及びクミアイプロパ松本センター合計で約135、000戸(うち「あんしんキャッチ24」の登録約80,000戸)の利用者宅の安全を、監視員7名による1日2交代、365日24時間の体制で見守っています。

監視業務は、「あんしんキャッチ24」専用端末へ警報として通報された内容を、該当する利用者宅へ電話し状況確認を行い、状況・原因が判明した場合、対処方法を伝えます。状況・原因が特定出来ない場合は、JAへ出動要請をします。JAでは、平日昼間はもちろん、夜間・休日も当番制で待機する体制をとっており、

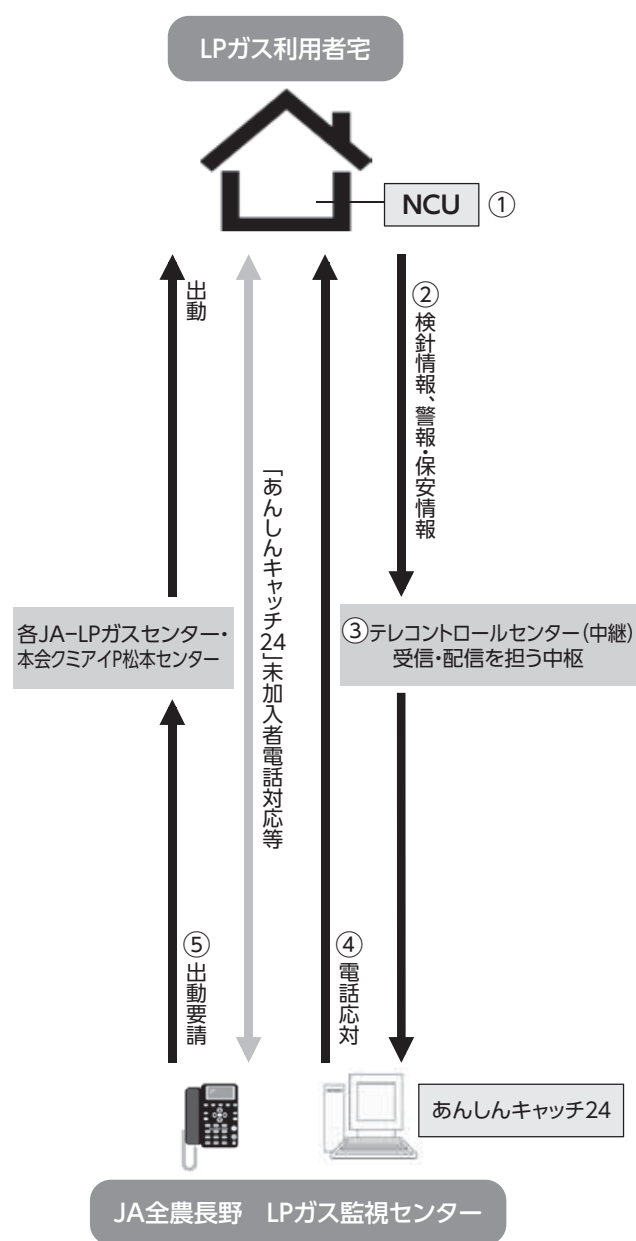


図1：本会LPガス事業における監視業務イメージ

状況に応じて現場へ急行し対応します。JAへ連絡した内容は監視記録としてまとめるとともに、JAとFAXにより情報を共有します。警報以外にも電話通報による「ガスが使用出来ない」等、問合せは多岐にわたります。そのためJAとの連携が不可欠です。警報・問合せ等への対応は、約23,000件/年以上、平均60件/日(昼夜計)にのびります。

冬期は、平均80件/日、年末等は100件/日となります。

LPガスは、生活に欠かせないエネルギーでありライフラインです。ガス器具についても使用方法さえ間違わなければ、日々の生活を豊かにしてくれる安心・安全で便利な道具です。しかし、誰も「いつか」の「もしも」の時からあります。その万が一のために対応する監視システムが「あんしんキャッチ24」であり、利用者の安全を日夜見守っているのが、監視員を中心としたLPガス監視センターの業務です。

(業務フロー／図1…本会LPガス事業における監視業務イメージ)

※JA-LPガス安全化システム「あんしんキャッチ24」とは
・ガス漏れや消し忘れなど、ガスの異常を監視センターで24時間見守ります。

・緊急の場合、JAと連携(出動要請等)して安全確保に努めます。
・ガスメータの検針をします。

①NCU(Network Control Unit)

お客様宅のガスメータとテレコントロールセンター間で情報の双方向通信を行うための機器です。このNCUには、お客様の電話回線を使う「有線式タイプ」と、FOMA網を活用した「無線式タイプ」があります。最近では、お客様宅の通信回線の多様化が進んでおり無線式タイプの設置が増えていきます。

②検針情報 警報・保安情報

ガスメータの検針情報や、ガスの異常な使用状況等を、マイコンを内蔵したガスメータが察知し、NCUを通じて監視セン

ターへ通報します。

③テレコントロールセンター

【NTTテレコン機】
LPガスの自動検針・容器残量・利用者からの異常使用情報の受信・配信などを担う、中継センターです。

④電話応対、⑤出動指示

監視センターは警報受信後、利用者宅に電話をかけて安全確認を行い、必要に応じてJA担当者に出動要請をします。



長野市にある充填所事務所棟



監視員7名が365日24時間体制で利用者宅を見守っています。

東信地区JAがトラクタ試乗実演会

長野県農協生産資材事業推進協議会農業機械専門部会東信支部（支部長／JA佐久浅間 佐久間正秀農機資材部長）は11月27日（火）、トラクタ購入時の機種選定の参考にしてもらおうと初めてトラクタの試乗実演会を、佐久市の道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に隣接した水田圃場で開きました。

JA全農共同購入大型トラクタをはじめ、国内主要メーカー4社がメーカー推奨の機種10点を出品し、20馬力から88馬力までの幅広い品揃えと1ヶ所で主要メーカーの機種を体験できるJAならではの試乗会になりました。

購入を検討している生産者約40名が参加し、JA職員とメーカー担当者に操作方法や特徴等の説明を受けながら試乗しました。

試乗した生産者からは「新しい機械は機能が充実しているし、操作が楽になった」との声をいただきました。



共同購入大型トラクタの説明を受ける参加者



トラクタ試乗

「第50回信州フラワーショー ウィンターセレクション」のご案内

長野県が全国一位の生産量を誇るアルストロメリア、ダリア、アネモネをはじめ、花木類など県内から約450点が出品され、品質や技術を競います。皆様のご来場をお待ちしております。

- 一般公開 2019年1月31日(木) 15:00～18:00
2月 1日(金) 9:00～13:00 ※入場無料
- 会場 JA南信会館 3階(伊那市狐島4381)
- 実施内容 (1)品評会(切花、花木)
(2)展示会

- ①フラワーアレンジメント
- ②種苗会社による品目・品種紹介 等
- ③花き関連新資材・機器
- (3)花の販売
 - ①品評会出品展示品
一般公開時に予約販売を行います。ご予約いただいた花は、一般公開終了後の2月1日(金)午後1時から2時にお引渡します。
 - ②信州産の花を使った花束・アレンジ等
一般公開時に花束・アレンジメント等の即売を行います。

【お問合せ】JA全農長野 野菜花き課 TEL.026-236-2250

1月の動き▶

総務広報課	1/4(金)	仕事始め
野菜花き課	1/31(木)～2/1(金)	第50回信州フラワーショー ウィンターセレクション JA南信会館
畜産酪農部	1/1(火)～2/28(木)	信州の畜産酪農キャンペーン 長野県A・コープ店頭に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、信州産の豚肉・牛肉・卵・牛乳・乳製品・肉加工品を5点以上購入したことがわかるレシートを1口として応募すると、抽選ですてきな商品が当たります。詳しくは裏表紙をご覧ください。

1月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名 放送内容(予定)
1/8(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 乳業協会のお話
1/15(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 牛乳等料理コンクールレシピ紹介
1/22(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 牛乳クイズ
1/29(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 1級フードアナリスト中島麻希さんのおはなし

JA全農長野の事業現況▶

平成30年度11月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	12,613	103	104
果	実	30,241	101	104
野菜花き		65,026	102	112
野菜種苗センター		143	103	100
きのこ		11,705	86	99
営業		10,745	92	105
生産販売部計		130,474	100	108
包装資材		5,932	93	94
生産資材		7,837	110	110
農業機械		5,337	105	95
施設住宅		2,550	120	81
生産購買部計		21,657	105	98
畜産		8,999	110	99
三岳牧場		201	104	91
SPF繁殖センター		206	105	116
酪農		12,462	107	98
ハケ岳牧場		165	72	78
畜産酪農部計		22,033	108	98
燃料・ホームエネルギー		17,010	117	109
SS協同経営		7,826	114	111
生活		7,928	97	94
生活部計		32,764	111	106
長野県本部計		206,927	103	105

(内部販売高含む)

編集後記

松本山雅FCの2018シーズンが終わりました。ご承知のとおりJ2優勝、J1昇格というすばらしい結果となりました。12月中旬には、2018シーズンのイベント参加スタッフの反省会を実施しました。会議では、各イベントでのお客様の反応や意見、改善点や今後の提案等をいただきました。山雅への熱い思いもヒシヒシ感じられた次第です。山雅の活動は、若い職員からベテランまで、部門を越えて幅広く関わっていただいています。

2019シーズンは、いよいよJ1という新しいステージなので、来場者も大幅に増えますし、ますます楽しみ倍増です。

30年度の広報・スポンサー活動では、小平奈緒選手の平昌オリンピックでの金と銀メダル獲得に始まり、御嶽海関の名古屋場所優勝、そして松本山雅の優勝・昇格とすばらしい結果を頂いた年となりました。

さて2019年は新しい元号になります。世界情勢も激動する中で時代の大きな転換点かもしれません。グリーンリーダーは、今号より年号表記を西暦表示に、また紙面内の本会名をJA全農長野に統一します。JA全農長野の広報誌として、より読みやすく改善しながら様々な活動や事業の諸情報をしっかりと発信していきます。今年も「愛読よろしく」お願いします。

(K)

「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール結果発表

長野県牛乳普及協会(事務局／JA全農長野酪農課)が主催する第33回「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクールの入賞作品が決まりました。今年は19の保育園・幼稚園から501点、25の小学校から174点の計675点の応募があり、厳正な審査の結果、金賞・銀賞・銅賞に各10名、佳作に6名の作品を選びました。なかでも金賞・長野県知事賞を受賞した室賀麻々さん(5歳)の作品(表紙左下)は、「おいしそうに牛乳を飲む様子が明るい色調で描かれ、牛乳の好きな様子が伝わる子どもらしい作品」と評価されました。

入賞作品は、JA全農長野のホームページで公開しています。

ホームページはこちら

やっぱ信州の牛乳でしょ

検索

金賞受賞者	氏名	学校・園名	(敬称略) 学年・年齢
長野県知事賞	室賀 麻々	日向幼稚園(上田市)	5歳
	佐藤 友和	高山小学校(高山村)	2年生
	坂巻 そら	売木小学校(売木村)	6年生
長野県教育委員会賞	近藤 愛	埴生小学校(千曲市)	6年生
	松本 瑠那	南小学校(上田市)	4年生
	小島 風紗	青木島小学校(長野市)	5年生
(一社)Jミルク会長賞	宮原 悠輔	辰野西小学校(辰野町)	1年生
長野県牛乳普及協会会長賞	永井 由仁	ひかり園(長野市)	6歳
	柳澤 亮月	杉の子幼稚園(御代田町)	6歳
	藤田 千紗	細萱保育園(安曇野市)	5歳

信州産の美味しい「お肉」「たまご」「牛乳乳製品」を買って当てよう!

信州の畜産酪農 キャンペーン

平成31年1月1日(火) ▶ 2月28日(木)まで

信州産を食べて
元気に!
信州産を食べて
応募しよう!

抽選で
150 名様
合計
に当たる
生産者への応援メッセージ
または信州産商品の感想を添えて
応募ください!



JJA全農長野は信州産の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています!

信州産畜産酪農品セット

抽選でプレゼント

合計150名(特別賞5名、A賞30名、B賞30名、C賞40名、D賞50名)

特別賞
5名様

御嶽海関を応援に行こう!

農協観光旅行券
(30,000円分)

A賞
20名様

信州アルプス牛
モモ・バラ焼き肉用

B賞
25名様

信州SPF豚
肩ロースしゃぶしゃぶ用

C賞
40名様

乳製品デザートセット

D賞
60名様

JAまごころ商品券
(1,000円分)

※写真はイメージです。※プレゼント賞品は情勢等により写真と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

キャンペーン対象商品

豚肉	●信州ポーク ●信州Aポーク
牛肉	●信州プレミアム牛肉 ●信州和牛 ●信州アルプス牛
牛乳・乳製品 (商品名)	●信州がおいしい農協牛乳 ●デザートJヨーグルト ●信州の産地がみえる牛乳 ●信州発元のきヨーグルト ●松山山雅牛乳 ●はちみつヨーグルト ●農協牛乳プレーンヨーグルト ●モオ〜ッと牛乳寒天
たまご (商品名)	●信州のたまご ●カミーちゃんたまご ●恵 ●菜の花みゆき卵 ●みなみちゃんたまご ●信州黄金たまご
肉加工品 (商品名)	●信州産豚肉使用ロングウィンナー (あらびき、ピリ辛、レモン&バセリ) ●信州産やわらか味付けホルモン (塩味、みそ味、キムチ味) ●国産熟成 農協ポークウィンナー

応募方法

店頭に備え付け応募チラシの応募記入欄に、郵便番号、住所、お名前、電話番号、年齢、職業、希望プレゼント商品名を明記の上、この用紙で封筒を作成し、信州産の豚肉・牛肉・たまご・牛乳・乳製品・肉加工品を5点以上購入したことがわかるレシートを1口として同封し、82円切手を貼って郵送してください。(レシートは複数枚になっても結構です。)

当選発表

当選者には、商品の発送をもって、発表とさせていただきます。

協賛団体

※応募された「個人情報」は、本キャンペーンの商品の発送のみに使用いたします。

実施団体

株長野県A・コープ/JA全農長野生活課

JAまごころ宅配/長野県農協直販株

JA全農長野/JA長野県グループ(農政対策会議)/

JA長野県・信州ポーク生産販売協議会/JA長野県・信州肉牛生産販売協議会/

JA長野県養鶏部協議会/長野県生乳生産販売委員会/長野県牛乳普及協会



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ

<https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」

<https://www.ja-town.com>

